自民党
埼玉県第13選挙区支部

三ツ林ひろみ通信 070224

埼玉十三区 地元発展のため 皆様の声を力に活動中！

ごあいさつ

地元のために、国のために期待に応えてまいります。

三ツ林ひろみ です。日頃より皆様にお支えいただき、有難うございます。

今年２月１０日、自民党埼玉県連は第十三選挙区支部の支部長の公募を取り止めると発表しました。当日の記者会見では、党本部から、惜敗率を重視して支部長を選ぶ意向が示され、１３区についても私を支部長として次期衆院選の公認候補予定者となる見込みである、との報道がありました。

これからも引き続き捲土重来を期し、地元・埼玉１３区の皆様と、我が国の未来と地元発展のために全力を尽くして、政治活動を続けてまいります。

皆様のご指導、ご支援をどうぞ宜しくお願い致します。

自民党は３月９日、立党７０年記念の党大会を開催いたします。立党の精神に立ち返り、国家国民のための政治、国民政党として、国民の不安に応える経済、「賃上げと投資がけん引する成長型経済」の実現と、「安定的な皇位継承」「靖国参拝の継続」「憲法改正」など保守政党としての責任と取り組みを力強く示した運動方針案が決議される予定です。

国際情勢が不安定だからこそ、日本のリーダーシップ、自民党の人材と経験の必要性は高まっているものと感じています。

一方で、国民の生活実感として、物価高対策とそれを上回る賃金上昇をいかに実現するか、とりわけ関心の高い米、ガソリン等々どう対応するか、が喫緊の課題です。

米の価格高騰については、備蓄米放出によって市場流通量を増やすとの方針が農水大臣から示されました。需要量６７４万トン、供給量８３２万トン。主食用米の需給ひっ迫状況にはない中での価格高騰は中間流通に米が留まってしまっていることによるものであり、政府が小売価格への効果をしっかりと検証し対応するよう促していきます。

ガソリンについては、現在、補助金の縮小過程に入っていますが、物流コストへの影響等を考えれば、トリガー条項発動よりも国・地方自治体の税収減少を回避できる即効性の高い補助金支給を継続していくほうがよいと考えられます。引き続き、政府に対して適切かつ必要な施策の継続を求めたいと思います。

また、高額療養費制度の見直しについて、２月１７日に石破総理は一部凍結を表明しましたが、この件に関しても、医療の現場を知る私がしっかりと声を上げ続けていれば、より迅速で適切な、医療の現実に寄り添った判断ができたものと感じています。同時に、一刻も早く国政に復帰せねばとの強い思いがあります。

地元、埼玉十三区においても、課題は山積しています。多くの皆様と対話し、皆様の声を力にして、糧にして、日々活動をしているところです。

これからも自民党の一員として、党勢の拡大と政策実行に、地元、現場の声を届けるべく、全力を尽くしてまいります。

前衆議院議員・医師
三ツ林 裕巳

地下鉄サリン事件、被害者カルテ電子保存へ 三ツ林ひろみ、オウム対策議員連盟の事務局長として主導した事業が実現

平成７年３月に東京都心で起きたオウム真理教による地下鉄サリン事件の被害者のカルテなどについて、政府が電子化して保存するための予算が令和６年度補正予算に盛り込まれました。

これは令和元年７月、菅義偉官房長官（当時）に対し、三ツ林ひろみが事務局長を務めていた「オウム真理教対策議員連盟」がデータベース化して適正に保存するよう政府に要請したものが実現したものです。

私もサリン事件当時、実際に被害者の治療にあたりましたので、当事者としての強い思いがあります。医療関係者の証言も含めて、この貴重な資料が今後の危機管理能力の強化に資することを願っています。

馳浩議連会長とともに、首相官邸にて菅義偉・内閣官房長官（当時）に申し入れを行う

三ツ林 裕巳　前衆議院議員・医師・医学博士

昭和30年9月7日 埼玉県幸手市生まれ
埼玉県立春日部高等学校卒業
日本大学医学部卒業
春日部市立病院、志木市立救急市民病院勤務を経て、
現在
日本歯科大学特任教授（同名誉教授）
日本大学医学部客員教授
埼玉県バレーボール協会会長
葛西用水路土地改良区理事長
埼玉県土地改良事業団体連合会会長
これまで、
内閣府副大臣（拉致問題、地方創生、少子化対策、子ども子育て支援、健康医療戦略、孤独・孤立対策、科学技術イノベーション政策等担当）、厚生労働大臣政務官、衆議院厚生労働委員長、自由民主党副幹事長、国会対策副委員長、衆議院議院運営委員会理事、**衆議院議員（小選挙区当選４回）**等歴任
柔道初段、剣道三段、詩吟八段

三ッ林ひろみ、地元の課題を訴えつつ駆け回る

幸手総鎮守幸宮神社、節分祭

埼玉13区、4市3町を街宣車で遊説

ポスター掲示に地元を歩いています

埼玉県土地改良事業団体連合会による大野元裕知事・県幹部への要望活動

農業農村整備事業に関する意見交換会

日本医師会の中村吉郎会長と医療現場の課題について意見交換

日本歯科医師会の高橋英登会長、日本歯科医師連盟の太田謙司会長と、歯科医師の課題を協議

埼玉東部に地域医療の新たな拠点
東武動物公園駅前への病院誘致に奔走

昨年6月、利根医療圏に関係する埼玉県議会議員8名とともに、武見敬三厚生労働大臣（当時）に地域医療整備に関する要望書を提出し、厚生労働省の担当者を交えて協議を行いました。

地元においても積極的に取組みを進めるべく、新井康之宮代町長、窪田裕之杉戸町長、両町の町議会議員など関係者と連携し進めています。

特に埼玉県東部地域では、新たな病院誘致に向けて期待が大きく、一方で病床の確保等に関する国・県との様々な調整が必要です。

地域医療の充実は、医師でもある三ッ林ひろみの最も重要な政治課題でもあります。地元の市長・町長、県議、そして医師会や関係企業・団体とも密接に連携しながら、これを具体的に前に進めるべく取り組んでいます。

地下鉄7号線の蓮田市方面延伸
国土強靭化につながる事業として推進すべき

地下鉄7号線（埼玉高速鉄道）の延伸に対する期待が改めて高まっています。さいたま市都市戦略本部によれば、費用便益費の改善により30年以内の黒字転換と、都市鉄道等利便増進法の活用への道筋がみえてきました。

かつては、三ッ林弥太郎 衆議院議員（当時、中選挙区の旧埼玉4区から選出）も、地元からの要望を受けて、新白岡駅設置や蓮田駅の橋上駅舎の設置などを実現しました。

鉄道ネットワークの強化は住民の安全・安心と、国土強靭化につながる事業であると考えられます。当面の岩槻までから蓮田以北へ、さらに鉄道空白エリアである白岡市大山地区、久喜市菖蒲地区を経て羽生までの延伸につなげるべく、今後も全力を尽くしてまいります。

蓮田市で開催された地下鉄７号線建設誘致促進期成同盟会総会で挨拶に立つ

自民党埼玉県第十三選挙区支部　三ッ林ひろみ事務所

【幸手事務所】〒340-0161　幸手市千塚490
TEL：0480（42）3535　FAX：0480（43）3535

【杉戸事務所】〒345-0025　北葛飾郡杉戸町清地2-16-7
TEL：0480（38）6963　FAX：0480（38）6918

【蓮田事務所】〒349-0104　蓮田市末広1-9-5
TEL：048（812）7131　FAX：048（812）7161

三ッ林ひろみの活動を発信中
・ホームページ
・Facebook
・Instagram

利根医療圏の県議会議員が一丸となり、三ッ林裕巳代議士とともに地域医療の充実を武見敬三厚生労働大臣に要望